

## 県・市議会の状況

## ◆県議会

平成22年9月県議会において、本会議・常任委員会で種々の議論はあったが、結果として公立大学法人化に向けた協議会の設置・運営予算が、附帯意見を付して可決。

## 【主な意見（抜粋）】

〔内田議員〕

○しっかりした経営能力のある人材で、経営委員会を作るといい。

〔稲田議員〕

○どこにでもある経営学部を作るのであれば、経営陣に経営学部の優秀な人材が必要。

○県は「まんが王国とっとり」を推進しているのだから、漫画学部を作ってはどうか。

〔尾崎議員〕

○経営責任・経営体制を整理しておかなければ、今後も同じことになる。

○経営学部は競争相手が多いので、どれだけ県内高校生が入るのか心配。

〔伊藤（美）議員〕

○県内の受験生や保護者を第一に考えれば、進路選択の幅の拡大、進学率の向上、同時に本県の未来のためにもより良い人材を育てる機会の創出は我々の責務。

○鳥取環境大学を速やかに公立化し、魅力ある大学に生まれ変わらせるべき。

〔浜田議員〕

○もっと教授陣・経営陣を紹介したり、「こんな社会貢献事業を実施します」とか、「中・西部でもオープンな場を設けます」という具体性のあるものを示していく必要がある。

〔市谷議員〕

○民間まかせの失敗の教訓と、公的役割を明確にすべき。

## ◆市議会

平成22年9月市議会において、公立大学法人化に向けた協議会の設置・運営予算が可決。

## 【主な意見（抜粋）】

〔両川議員〕

○環境大学に、デザイン・漫画学科を設置してはどうか

〔上杉議員〕

○大変厳しい少子化の状況の中で、生き残り策としては、公立大学法人化しかない。

○新しい大学として全国の高校生の諸君にいかにかにアピールしていくかに尽きる

○運営に対するチェック体制が重要。

〔武田議員〕

○授業料の負担というのは、保護者にとっては大きなこと。授業料が半分近く下がることは、しっかり伝える必要がある。

○魅力ある大学として一番大事なことは、卒業後の就職に夢があること。